コントローラー
OP01102

施工説明書

かならず専門業者のかたが施工を行ってください。

裏面はお客さまへの取扱説明書となっております。
必ずお客さまに取扱いの説明を行っていただき、この説明書をお渡しの上、保管をお願いしてください。

安全に関するご注意　～施工者のかたへ～

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠ 警　告

●定格容量を守ってお使いください。
容量はこの説明書の裏面を参照してください。
異常発熱や火災の原因となります。

●指定の照明器具専用です。
適合負荷は適合表をご覧ください。
銅鉄式蛍光灯、電球型蛍光灯などには使用できません。異常発熱や火災の原因となります。

●誤結線や負荷短絡なきようご注意ください。
異常発熱や火災・故障　の原因となります。

●電源入力は、接続する蛍光灯器具の定格電圧としてください。

●適合電線を使用し、差し込み端子の電線穴に奥まで差し込んでください。
指定外電線の使用や不十分な結線は機器の異常発熱・火災の原因となり危険です。

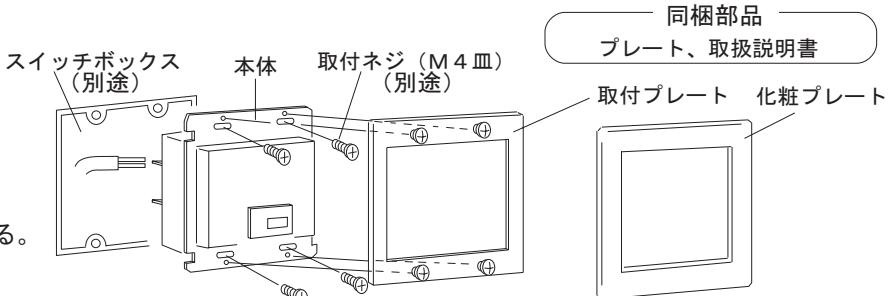
●浴室など湿度が高いところに取り付けないでください。
火災や感電の恐れがあります。

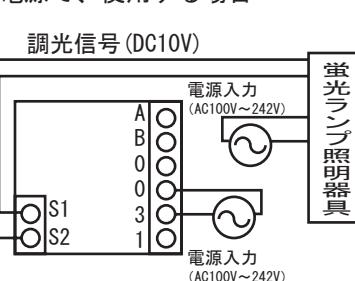
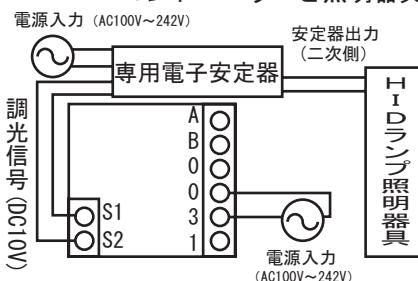
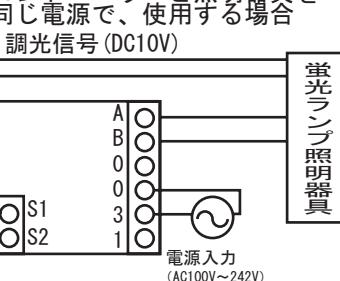
●改造しないでください。
異常発熱や火災などの原因となります。
器体スイッチの交換はできません。

【取付方法】

同梱部品
プレート、取扱説明書

＜手順＞
①電線被覆を１０mm むく。
（本体背面のストリップゲージに合せる）
②下記の適合電線を使い、本体の電線穴に、芯線を完全に奥まで差し込む。
③本体をスイッチボックスに取付ネジで取付ける。
④プレートを取付ける。

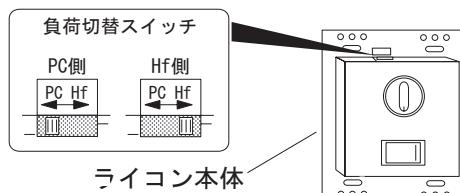
スイッチボックス（別途）
本体
取付ネジ（Ｍ４皿）（別途）
取付プレート
化粧プレート

【結線図】

コントローラーと照明器具を別電源で、使用する場合

コントローラーと照明器具を同じ電源で、使用する場合

注）電源入力は、接続する蛍光灯器具の定格電圧としてください。

＜電線のはずし方＞電線のはずし穴に電工ドライバー（中又は小）を十分にまっすぐ差し込んで電線を引き抜いてください。電線をはずす際、ドライバーを強くこじたり、回転させたりすると周辺の成形品が欠けることがありますのでご注意ください。

＜適合電線＞ 調光信号端子（左図の S1、S2）のみ CPEV φ0.9×１ペア（２芯 銅単線） 他はφ1.6またはφ2.0の銅単線専用です。 VVFまたはIV線をご使用ください。信号線の総配線長は100m以内でご使用ください。

【負荷切替えスイッチについて】

HID・蛍光灯器具は、種類により特性が異なります。
特性を補正するため、「負荷切替スイッチ」を「Ｈｆ」または「ＰＣ」に切り替えてください。必ず照明器具の取扱説明書をお読みください。出荷時には「Ｈｆ」側に設定されています。

お客様相談窓口
マックスレイ株式会社
東京　03-3791-2711
大阪　06-6967-0123
名古屋　052-252-9556
福岡　092-431-7892

この説明書は平成17年6月1日に作成されたものです。

コントローラー
OP01102

保管用

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。正しくお使いいただくため、
この説明書をよくお読みください。またお読みになったあとも大切に保管してください。

安全に関するご注意

～お客さまへ～

ケガや事故防止のため、以下のことを
必ずお守りください。

⚠ 警　告

●ランプ交換の際には必ずブレーカで電源を切ってください。
　感電の原因となります。

●本器のすぐ近くでストーブや電熱器をご使用にならないでください。
　故障や火災の原因となります。

●指定の照明器具専用です。
照明器具交換の際は、同じ品番の器具と交換してください。
他の器具に変更される場合は、必ず専門業者や代理店にご相談ください。専用器具以外を使用しますと、
異常発熱や火災の原因となります。

【仕様】

項目		内容
定格電圧		ＡＣ１００～２４２Ｖ　（５０／６０Ｈｚ共用）
最大許容入力電圧		ＡＣ２６４Ｖ
適合負荷		HID150W調光用照明器具　(MD20208・M20209) FHT調光用照明器具 (MD20210・MD20211) シームレスライン調光用照明器具（ＰＷＭ方式）(MX80016～M80019) （ＰＷＭ方式はDC10Vのパルス信号で調光する方式です）
定格容量（注１）	負荷出力	１５Ａ（本器２台連接時（注２）は、１台１０Ａ）
	調光信号	２５０ｍＡ（本器２台連接時（注２）は、１台１０Ａ）
使用温度範囲		０～３５℃
適合スイッチボックス		ＪＩＳ　２個用カバー付

注１）接続台数に制限のある器具があります。必ず別表を参照ください。
注２）樹脂ボックスへの取付はできません。

【適合表】

器具	電源・調光信号供給方法	定格電圧	使用可能台数	調光器２台連接時の使用可能台数
セラルクス150W MD20208・MD20209	別電源・調光信号のみ調光器から供給	100V 200V	50台 50台	32台 32台
FHT32W MD20211	電源・調光信号共に調光器から供給（電源定格容量の負荷出力が15Aまで）	100V 200V	41台 50台	27台 32台
	別電源・調光信号のみ調光器から供給（調光信号の定格容量が250mAまで）	100V 200V	50台 50台	32台 32台
FHT42W MD20210	電源・調光信号共に調光器から供給（電源定格容量の負荷出力が15Aまで）	100V 200V	30台 50台	19台 32台
	別電源・調光信号のみ調光器から供給（調光信号の定格容量が250mAまで）	100V 200V	50台 50台	32台 32台
FRT1500・1250・1000・850 MX80016・80017・80018・80019	電源・調光信号共に調光器から供給	100V	22台	14台
	別電源・調光信号のみ調光器から供給	100V	35台	22台

【使用上のご注意】

●操作について

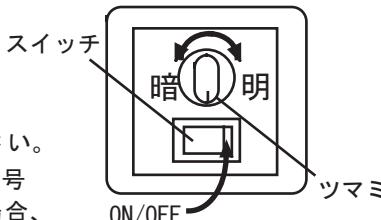
スイッチ　暗　明　ツマミ　ON/OFF

・スイッチをＯＮにしてツマミを操作し、お好みの明るさに調光してください。

・照明器具を別電源で調光信号のみ調光器から供給する場合、コントローラのスイッチをOFFにすると100%点灯になります。

・調光下限(暗く絞りきったとき)の明るさは照明器具の種類により異なります。

・電源と調光信号をともに調光器から供給する場合、消灯させるにはスイッチで電源を切ってください。
ランプが消えていても若干の電力を消費しています。

・調光下限に絞ってツマミを停止した際、目の錯覚により明るさの変化を感じることがあります。

●表面温度について

使用時、内部素子の発熱により本器表面があたたかくなることがありますが、異常ではありません。

●お手入れについて

表面の汚れは、やわらかい布で拭いてください。
シンナーや濡れ雑巾などは　使わないでください。

●雑音について

雑音防止回路を組み込んでいますが、ラジオや音響機器に雑音を与えることがあります。あらかじめ次の対策を実施してください。
　音響機器のアースを取ってください。
　音響機器やアンテナ、アース線は調光器から１ｍ以上離してください。
　調光回路の配線と音響機器の配線を別々にして　ください。

異常が感じられた場合は、主電源（ブレーカ）を切り、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

この説明書は平成17年6月1日に作成されたものです。